

## フィリピン ココナッツ市況

フィリピンのココナッツは通年収穫されますが、北部ルソン島は7月～9月、そして南部ミンダナオ島では9月中旬～12月にかけて収穫の最盛期となります。

今年はスリランカやインドネシア等のココナッツ製品の主要輸出国が、欧米を中心に需要が高まっているココナッツオイル等のデシケートココナッツ以外のココナッツ製品の生産に力を入れ始めているとの情報です。特にココナッツオイルは、認知症やアルツハイマー等の進行を抑制する効果があるとして最近需要が高まっており、フィリピンの1月～5月のココナッツオイル輸出量は、昨年の30万9,684トンより約86.5%増の57万7,627トンとなっています。また、フィリピンも昨年12月初めの台風被害による恒常的な原料不足と欧米市場の需要増加によって需給バランスが崩れてきていることから、当面は価格の値下がりは見込めず、安定するのではないかと考えられます。

これまで、ココナッツ原料相場の指標となってきたココナッツオイルの価格に加え、近年はココナッツ原料そのものの需給状況等による影響も大きくなっています。



工場に入荷したココナッツ



スーパーで販売されるココナッツ